

令和 2 年度決算概要について

令和 2 年度決算の概要を取りまとめましたので、お知らせします。

1 令和 2 年度決算概要

(1) 令和 2 年度決算のポイント

ア 実質収支の確保

一般会計の実質収支は、市税が予算に比べ増収となったことや、新型コロナウイルス感染症対応に係る国の財源措置を積極的に活用したこと等により、前年度並みの 5 7 億 2, 4 0 0 万円を確保。(令和元年度: 5 8 億 4, 0 0 0 万円)

歳入総額	5, 7 6 7 億 7, 2 0 0 万円
	(対前年度比 +1, 1 8 7 億 2, 9 0 0 万円、+2 5. 9%)
歳出総額	5, 7 0 1 億 8, 9 0 0 万円
	(対前年度比 +1, 1 9 1 億 4, 2 0 0 万円、+2 6. 4%)

イ 将来負担の着実な低減

第 3 期財政健全化プラン(平成 3 0 ~ 令和 3 年度)の主要目標として掲げた「主要債務総額の削減」は、令和 3 年度までに 4, 8 0 0 億円程度まで削減する目標に対し、令和 2 年度末時点で 4, 6 8 2 億円まで削減し、現段階で目標を超える結果となった。

また、全会計の市債残高は、対前年度比 3 1 億円減の 9, 7 0 1 億円となり、1 0 年連続で削減となった。

(2) 健全化判断比率等

ア 健全化判断比率

実質公債費比率及び将来負担比率については、いずれも前年度より改善。

実質公債費比率	1 1. 8 % (対前年度比△ 1. 1 P、早期健全化基準 2 5. 0 %)
将来負担比率	1 2 8. 8 % (対前年度比△ 9. 5 P、早期健全化基準 4 0 0. 0 %)

イ 資金不足比率

対象となる 6 会計でいずれも発生していない。